

## コロナ禍の下、奮闘する社員の期待に応えろ！

貨物賃金交渉 会社⇒コロナに加え雪害による減収が大きく影響している！

第2回目の団体交渉では会社より収入動向と営業日報の報告を受け交渉に入った。

- (組合) 収入動向はコロナの影響と1月からの雪害が大きく影響している下で厳しい状況は認識するが、運輸収入では年間累計で対前年をクリアしており、北海道向けの滞留している荷の挽回輸送など3月の動向が大きく影響することは間違いないのではないか。
- (会社) 雪害とコロナの状況が現時点の数字となって表れていることは間違いない。そうした中でも昨年12月は、2019年度比-2%程度で推移しているなど、コロナの終息次第で状況は変化すると見ている。雪害でも北海道では2月21日から5日間は全面運休となり、その後も札幌夕構内の除雪が間に合わず、車数制限で欠車が発生していたが、3月に入り通常輸送を行えている。輸送量は対前年マイナスであるが、運輸収入については指摘の通り前年を上回っており、運賃改定やブロックトレイン効果であることは間違いない。3月も2月の積み残しや引越し荷物での挽回輸送に取り組んでいく。

生活改善

1月改定では単体で5億円の経常黒字を目指す計画！



12年連続の黒字確保に向け  
奮闘する社員と家族に還元しろ！

新型コロナウイルス感染拡大の影響によるJR各社の経営状況は、大幅な減収となり各社厳しい状況が続いているが、貨物会社においては、巣ごもり需要を背景に、2020年度決算は、単体、連結ともに黒字となり、11年連続で経常黒字を確保している。

2018年には19年ぶりとなる「300円」、2019年には2年連続となる「200円」のベースアップを実施し、また、2020年には「200円」の賃金改善を実施している。しかし、業績を反映したと実感できるものでもなく、厳しい生活が改善したと実感するには程遠いものとなっている。

生活改善には賃上げが重要！  
社員への投資を最優先に！



第3回交渉3月9日(水) 予定

国鉄労働組合・全国貨物協議会